

今週のお祈り 顕現後第6主日特禱

神よ、あなたはその独り子の受難の前に、聖なる山の上でみ子の栄光を現されました。どうかわたしたちが、信仰によってみ顔の光を仰ぎ見、自分の十字架を負う力を強められ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外 185

発行日
2024年
2月11日

今週水曜日(2/14)から大斎節が始まります。主イエスさまの受難とご復活を覚え、イースターを迎える準備の期間です。自分を振り返り、周りの人を覚えてお祈りし、いつもより多く聖書を読んで過ごしましょう。

今週の聖書 マルコによる福音書 9:2-9

2 六日の後、イエスは、ただペトロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。すると、彼らの目の前でイエスの姿が変わり、3 衣は真っ白に輝いた。それは、この世のどんなさらし職人の腕も及ばぬほどだった。
4 エリヤがモーセと共に現れて、イエスと語り合っていた。5 ペトロが口を挟んでイエスに言った。「先生、私たちがここにるのは、すばらしいことです。幕屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのために。」6 ペトロは、どう言えばよいか分からなかった。
7 弟子たちは非常に恐れていたのである。
8 弟子たちは急いで辺りを見回したが、もはや誰も見えず、イエスだけが彼らと一緒におられた。9 一同が山を下っているとき、イエスは、「人の子が死者の中から復活するまで、今見たことを誰にも話してはならない」と弟子たちに命じられた。

聖書からのメッセージ 主教 高橋 宏幸

キリスト教にとって、「沈黙」という大切なテーマがありますが、騒々しい世の中で、デンマークのキルケゴールという思想家は次の言葉を残しました。「現代の有り様を見れば、社会全体が病んでいると言わざるを得ない。もし仮に私が医者で、どうしたら良いかを尋ねられたら、躊躇わずにこう答えるであろう。第一の薬は沈黙である！」

人にとっても、社会にとっても、沈黙がとても重要であり、どれほど私たちの力になるかについて説いています。

特にイエス様のご復活への大切な備えの時である大斎節が始まりますが、その中で沈黙というものも深く考えていきたいものです。

